



## 神奈川県高校総体卓球競技の部兼全国高校総体卓球競技の部神奈川県予選会について

表題の件について下記の通り開催いたしますので、貴校代表選手の派遣方、よろしくお願い申し上げます。  
なお、男女シングルス・ダブルスにつきましては推薦出場者・組が参加資格を有することとなります。

## 記

- 1 主催 神奈川県高等学校体育連盟 神奈川県教育委員会
- 2 主管 神奈川県高等学校体育連盟卓球専門部
- 3 後援 (公財)神奈川県体育協会
- 4 種目 男女学校対抗及び男女シングルス・ダブルス
- 5 県代表数 学校対抗 (以下T) 男女2チーム  
シングルス(以下S) 男子6名 女子5名  
ダブルス (以下D) 男女3組
- 6 適用ルール 日本卓球ルール
- 7 試合日程 5月12日(土) 9:00～ S4 秩父宮記念体育館(男) 高津スポーツセンター(女)  
19日(土) 9:00～ D4 潮風アリーナ(男) 平沼記念体育館(女)  
20日(日) 9:00～ SDリーグ 秦野市総合体育館(男女)  
6月 9日(土) 9:00～ T4 潮風アリーナ(女)  
16日(土) 9:00～ T4 潮風アリーナ・小田原アリーナ(男)  
17日(日) 9:00～ Tリーグ 潮風アリーナ(男女)

5月9日(水)16:00～ 学校対抗抽選会(男女) <15:30～受付開始>  
横浜市立横浜商業高校 講堂 :横浜市南区南太田2-30-1  
<上履きを必ず持参して下さい。>

抽選出来るのは、顧問が引率をした当該校生徒又は当該校顧問です。  
当日、学校行事等で抽選会に参加できない場合は、事前に各地区の卓球専門部(下記、各地区委員長)へ連絡をして頂ければ、地区専門委員が代理で抽選いたします。

横浜地区・牧野(新栄)	川崎地区・今井(市立高津)
横三地区・加藤(横須賀総合)	湘南地区・西郷(鎌倉学園)
北相地区・石川(愛川)	西相地区・綿引(山北)

- 8 試合会場 秩父宮記念体育館:藤沢市鵜沼東8-2  
平沼記念体育館:横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1  
高津スポーツセンター:川崎市高津区二子3-15-1  
秦野市総合体育館:秦野市平沢101-1  
小田原アリーナ:小田原市中曽根263  
潮風アリーナ(三浦市総合体育館):三浦市初声町入江169番地

- 9 試合方法
  - ・男女学校対抗・男女ダブルス  
トーナメントでベスト4決定まで行い、ベスト4のリーグ戦で順位を決定する。  
男女学校対抗は上位2チームが代表。男女ダブルスは上位3組が代表。
  - ・男女シングルス  
トーナメントでベスト4決定を行い、1～4位決定と5～8位決定のリーグ戦を行う。男子は上位6名が代表。女子は上位5名が代表。  
学校対抗の試合方式は4～6人による4シングルス1ダブルス方式で  
1:S 2:S 3:D 4:S 5:S の順で試合を行う。  
1番と2番に出場する選手同士でダブルスを組むことはできない。  
シングルスに出場できるのは1回のみ。  
3人以下の選手では出場できません。

# 参考

- 10 参加資格 県高体連加盟校登録かつ(公財)日本卓球協会登録選手
- 11 参加制限 学校対抗:各校男女1チーム(全、定、通の混成出場は認めない)  
シングルス:推薦出場者(「13 推薦」の章を参照)  
ダブルス:推薦出場組(「13 推薦」の章を参照)  
(関東大会各地区予選の申し込みをした組の組み替えは認めない。)
- 12 年令制限 4月1日現在で19才未満の者
- 13 推 薦 今年度の関東高校卓球大会県予選会にシングルスで推薦出場できる資格を持つ者は、シングルスの県大会推薦出場資格を持つ。  
今年度の関東高校卓球大会県予選会にダブルスで推薦出場できる資格を持つ組は、ダブルスの県大会推薦出場資格を持つ。  
今年度の関東高校卓球大会各地区予選会において地区代表となった者・組は、それぞれシングルス・ダブルスの県大会推薦出場資格を持つ。  
各地区高体連卓球専門部より推薦された者・組は、それぞれシングルス・ダブルスの県大会推薦出場資格を持つ。
- 14 申し込み 各地区高体連卓球専門部へ参加料を添えて申し込みをする。各地区の「高校総体申し込み案内」を参照して下さい。申込書は、3月末にHPにUPします。  
個人情報取り扱いについて  
本大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは「神奈川県高等学校体育大会(主催・共催)における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」を参照下さい。)
- 15 参加料 学校対抗:4,000円 シングルス:400円 ダブルス:500円
- 16 注意事項 学校長に認められた引率責任者の引率がないと試合に参加できません。試合当日の開会式前に選手の出席確認と同時に引率責任者の出席確認も行います。  
学校対抗のベンチに入れる監督(1名)は、日本卓球協会に役員で登録している該当校の職員・嘱託コーチに限り、個人戦アドバイザー(1名)は、日本卓球協会に登録している該当校の職員・嘱託コーチ・選手に限りです。  
リーグ戦以外では、タイムアウト制は採用しません。試合中選手にアドバイスが出来るのは、学校対抗・個人戦のリーグ戦でゲーム間に選手がベンチへ戻ってきたときのみで、学校対抗ではベンチ入りした監督・選手に、個人戦のリーグ戦ではアドバイザーのみ、その資格があります。(1分以内)  
ユニホームが同じ物でないと出場できない種目:学校対抗・ダブルス  
JTAAの公認マークが付いている物で、主たる色がボールの色と明らかに異なる色のみ使用可。 ショートパンツは地色が同系色まで可。  
失格になる場合:遅刻(開会式で出席の最終確認をします。)、禁止されているラバー接着剤等の使用、ゼッケンを着用しないなど。  
学校対抗の登録変更は、学校対抗初日の開会式前までに変更届を提出してください。申込書が変更届を兼ねていますので本部に申し出てください。  
会場は駐車場が狭い所が多いので、応援者には車での来場を控えるように、各参加校で御連絡ください。  
高体連の登録は4月下旬に各学校で、日本卓球協会への登録は各支部協会の〆切を守って行ってください。なお、この予選に参加した選手の登録は必ず行ってください。今年度の登録数が次年度の関東大会・全国大会の県代表数を決定する資料になります。  
試合前の練習は、会場の台の準備がすべて終了してから譲り合ってください。  
有機溶剤の入ったラバー接着剤・クリーナー等は使用してはいけません。  
ごみについては、各学校で必ず持ち帰り指導の徹底をお願いします。  
この大会の学校対抗の試合から2018年度のゼッケンを着用しなければなりません。  
引率する顧問の先生は必ず前記の大会規定及び顧問総会で配布した規定・注意事項を確認し、生徒に徹底してください。(不明な点は各地区の卓球専門部へお問い合わせください。)